

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471000487	事業の開始年月日	平成13年8月13日	
		指定年月日	平成13年8月13日	
法人名	株式会社 カスタムメディカル研究所			
事業所名	スカイホーム湘南			
所在地	(241-0051) 神奈川県横浜市戸塚区名瀬町36-4 KMプラザ			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年10月22日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月27日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471000487&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>理念に基づき、入居者様お一人お一人の人格を尊重する介護を心がけ、朝礼等で職員全員に周知徹底を図っている。</p> <p>ビルの4・5階部分に位置している為、近隣との交流が難しいが、散歩の折、近隣の方々とふれあったり、運営推進委員会を通じて、地域の理解を得よう努めている。</p> <p>家庭に近い生活が出来るよう支援し、食事は手作りとし、旬の食材を献立に取り入れ、誕生会などのイベントメニューにも力を入れている。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年11月24日	評価機関 評価決定日	平成24年2月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>戸塚駅からバスで約10分の富士橋バス停前にある5階建てのビルで、1階はクリニックと薬局で、2階から5階までを自社法人が入居しており、4階と5階がグループホームとなっています。</p> <p><優れている点・工夫点></p> <p>道路向かいに高層マンションがあり、このマンションの中庭で開催されるお祭りなどでの地域の方との交流が見られます。</p> <p>若さに溢れている管理者はベテランのスタッフや利用者との信頼関係が通い合い、ホーム内の風通しが良くなったとの声が職員面談で聞かれました。</p> <p>地域に積極的にアプローチし、防災訓練には地元の方の参加を得て、実施しています。お向かいのマンションの方(自治会長)がホームの運営推進会議に参加され、意見交換やより良いホームづくりに意見をいただいています。</p> <p>認知症ケアにおいては、利用者の服薬内容を吟味し、医師との連携に加え、職員の質の高い対応をすることで服薬内容を軽減させることを実践しています。</p> <p>鉄筋コンクリート構造の4階と5階がグループホームですが、木目の幅木や長押、建具や居間の一部、天井板にも木目が使っており、木造の建物を思わせます。入居されている利用者にも馴染みやすい空間になっています。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	スカイホーム湘南
ユニット名	はずき

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関やリビングに理念を掲示し、新人研修や朝礼にて理念を確認しています。家庭に近い介護、地域と共に支援していく事を心がけています。	毎朝実施している朝礼では企業理念を軸に職員の人格のあり方、利用者本位の姿勢を示すことを意識した話がされています。又、玄関ホールに理念を記したものが掲示され、パンフレットにも同様に示されています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域行事へ入居者と共に参加しています。また事業所が行う行事への参加を町内会の方々へ呼びかけています。	道路向かいの高層マンションの内庭で開催された夏祭りに参加し、大勢の人と一緒に楽しみの時を過ごしています。また、地域の方も参加した防災訓練が実施されています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職業体験の場として近隣中学校へ提供しています。また町内会の方々には運営推進委員会にて事業所の生活を理解していただいています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月ごとに開催し、行事やアクシデントまた研修等を報告、話し合いの中で意見や助言をいただき、実践することでサービス向上に活かしています。	町内会長、地域包括支援センター、民生委員、入居者家族の参加を得て開催されています。これにより防災訓練については地域の方の参加を得られたり、祭りでは地域の方との触れ合いの機会が創出されています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市が行う定例会に参加、情報交換し共有していくことで協力体制を築いています。生活保護受給措置をうけている入居者様について、市の担当職員と連携をとっています。	地域包括支援センターとタイアップした困難事例の対応等、福祉の理念に基づき、本人のニーズに応える姿勢が打ち出されています。この他、横浜高齢者グループホーム連絡会のメンバーとして研修などの活動に参加しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様への理解を深めて行動把握に努めることで、身体拘束をしないよう支援を行っています。日中はできるだけ玄関に鍵をかけず、センサーをつけ人の出入りがわかるようにしています。	身体拘束廃止に関する指針を持っており、これに基づき原則として拘束をしない介護を実践しています。家族の同意を得た上で離床センサーを設置している利用者がおられます。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加する機会を設け、参加者を中心に朝礼で意見交換を行い周知徹底することで、虐待防止に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会に参加しています。研修参加者は朝礼で学んだ事を他職員と意見交換し理解する事で、活用できるようにしています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様またご家族に運営規定の概要や職員体制等の重要事項を記載した文書を交付し、同意を得ています。また説明時はわかり易く伝えられるよう心がけています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様やご家族の意見が反映できるよう、ご家族への定期的なアンケートや家族会・運営推進会議を設けご意見を伺い、反映できるよう努めています。	介護認定の更新時や利用者に大きな変化が生じたときには、家族の意見を反映した介護計画の作成や、ホームの運営に活かしています。日常の生活場面についても、本人の思いや希望を取り入れるようにしています。	定期的な家族アンケートから得られた意見を吟味・反映し、できることから実施していくことで、家族の思いやホームの強みを確認し、運営面に具体的に活かしていく事も期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼やカンファレンスで意見や提案を聞き、改善に向け取り組んでいます。また、日々の業務の合間に管理者を含み職員が積極的に意見交換するよう心がけています。	利用者の「本人らしさ」の引き出しにおいて、向精神薬の利用に着目し、職員によるケアや関わりの仕方において、どう改善するかなどのカンファレンスを医療、介護スタッフ、管理者が協働して実施し、薬を減らすなどの効果が見られています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護職員の処遇改善計画を立て、職場環境の整備に努めています。また、能力給を設けることで向上心を持てるようにしています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者、職員に法人内外の研修を斡旋し、参加した管理者や職員は朝礼にて研修内容を報告し共有化やスキルアップを図っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会に所属し、研修等に参加しています。また、交換研修で他事業者から学ばせていただく機会を設けています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人やご家族の要望や不安を取り除き、安心した生活を提供できるよう面接や電話相談の際はお話を十分に聞いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居問合せの際は、なるべくご本人またご家族・関係者に見学して頂くよう案内させていただいています。ご家族へ希望や不安をお聞きし、ご納得いただけるよう努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時の面談にてご家族とご本人の要望を把握し、全スタッフが共有し介護記録にて毎日の様子を観察し対応しています。経過も細かくご家族に伝えています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居してからもご家族と電話や手紙等で連絡を取りながら、ご本人の生活や心身の状態を報告し共有しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後、ご家族とご連絡させていただき、入居者様の生活状況等を伝え共有しています。また事業所の行事を行うときは、お声をかけ参加していただく機会をもっています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族やご友人と連絡をとったり、ご面会時には居室にて楽しく過ごされたり、一緒にお食事をされたりもしています。	家族の面会の折、一緒に外食に行ったり馴染みの場所へ外出することで、関係を継続しています。3年前までは年間行事として家族を伴ったバス旅行を実施し好評を得ていました。介護度が上がった現在は行っていませんが、できることから支援していく姿勢が職員に見られます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや体操等、一緒に過ごせる機会を設け、共有した時間をつくっています。その際は職員が間に入って話題を提供し、入居者様同士が円滑にコミュニケーションできるよう配慮しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、転居先へ職員が訪ねて状況を伺っています。また、ご家族から近況や思いなどのお便りも頂き、退去後も支援できるよう努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人記録に入居者様の言われた事を記入、また言動だけで判断せず何を望んでおられるのか職員間で話し合い、希望や意向に添えるよう努めています。	本人主体のケアをする中で、一緒に外出した時などに会話を通して意向を聴いたりしています。利用者の希望でカラオケボックスや回転ずし等を楽しむなどの機会をもったりしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の面談で、本人及び家族から今までの様子を細かに聞き記録しています。入居後も様々な場面でその方の今までの生活を知る事できるようにコミュニケーションをとっています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式D3の個人記録、水分量、排泄記録、夜勤者からの申し送りノートなどを用い、一人ひとりの生活状況、身体及び精神状態、今出来る事、今何が必要かを職員全員が把握、共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族からのご意見や要望は面会時や手紙にてお聞きしています。必要に応じてケース会議を開催し職員間で共有するとともに、医師や看護師からアドバイスを仰ぎ、介護計画に反映しています。</p>	<p>利用者の思いや把握にはセンター方式の課題抽出の方法を採用して行われています。他の方式も検討されており、いかに利用者の思いを引出すかという努力がされています。</p>	<p>介護計画は職員のチームで作る上げる「チームケア」を前面に出して、日常の業務や生活の一場面から本人らしさを引き出すことで、ケアの質の向上に資することが期待されます。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>24時間生活変化シートに1日の生活状況や発言また職員の対応等を記録して、職員間で共有し話し合うことで介護計画の見直しや実践に活かしています</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々の要望に添えるよう家族と相談し、同建物内の小規模多機能型事業所と連携、催事に参加するなど交流し、柔軟な対応ができるようにしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会に加入し、町内の催事に積極的に参加、地域の方々も事業所の行事に参加し交流しています。また囲碁・書道、コーラス、バレエ教室の公演など多くのボランティアの方々が協力してくださっています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の同意を得て、24時間居宅療養診療医に委託して、月2回往診に来ています。また随時入居者様の健康についてご家族様から相談できる体制をとっています。</p>	<p>ホームのかかりつけ医が月に2回の往診に対応しています。家族によっては往診時に合わせて、一緒に参加いただくことで信頼性の向上が図られています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法契約にて24時間医療連携をとり、週1回の定期訪問以外に、体調変化等の必要時の訪問また24時間電話対応で指示や助言を受けています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはかかりつけ医の情報提供書や職員による介護記録を送り、安心して治療できるよう連携をとっています。また退院後にスムーズにホームの生活に移行できるよう積極的に病院関係者と話し合っています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に「重度化に関する指針」をご説明したうえで、同意を得ています。必要が生じた場合には、ご家族と医師や看護師・職員で話し合い合意をとりながら進めています。	ターミナルケアに関して現状ではそのマニュアルはないが、重度化指針に沿って対応しています。	終末期対応について、全職員に対し、マニュアル等をとうしてさらなる情報の共有を順次図っていくことも期待されます。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に消防職員に来て頂いて、応急手当や心肺蘇生の訓練・指導を受けています。また救急時のマニュアルを目の付く所に掲示し冷静に対応できるようにしています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと防災訓練を行っています。5月に行った防災訓練に地域の方々も来訪されました。また運営推進委員会で災害時における地域の協力体制について話し合っています。	スプリンクラーの設置工事が終了しています。防災訓練は年に2回、地域の人と共に消防団、地域包括支援センターの職員も参加して実施しています。備蓄は水や軽食を3日分確保しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様お一人お一人の人格を尊重した支援に努め、お声がけするときは無理強いのないように気をつけています。	入浴する際に全身浴、足浴、清拭のどれにするかは声かけして利用者を選択してもらっています。利用者の人格を最優先すること、自尊心を傷つけないことなどについては、朝礼、カンファレンス、スタッフ会議などで常に検討しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	体操やレクリエーション参加は本人の意思を尊重しています。飲み物は本人の要望に添うようにし、誕生会の食事メニューは本人の希望する献立を組んでいます。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	要望を伺い柔軟に対応し、起床・就寝時間、食事時間等、心身の状態に合わせてお一人お一人のペースを大切にできるよう支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	基本にご本人に任せていますが、ご自身で決める事が難しい場合は職員が身だしなみを整えるまたオシャレをするお手伝いをしています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様が得意な事やできる事を活かしながら、食事準備や後片付けを職員と共に行っています。食事のさいは職員も各テーブルに座って、食事を楽しめる雰囲気づくりに努めています。	利用者に食事の感想を聞くと、「きょうはちょっと辛かったよ」などの返事をしてくれます。職員は残量を見て量や味を微調整しています。利用者は下膳、食器洗い、食器拭きなどできることをして食事を豊かにしてくれます。職員も利用者と一緒に食事を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、職員が食事量や水分量を確認し記録しています。また入居者様の希望や季節のものを食事メニューに取り入れています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアをして、口腔機能の維持向上に努めています。また月二度の歯科往診で、口腔内に異常や心配事のある入居者様は診察できる体制をとっています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、支援が必要な入居者様はお声がけや誘導をして、トイレで排泄できるよう自尊心に配慮して支援を行っています。</p>	<p>何か探している様な落ちつかない仕草などで排泄のサインを見逃さず、声かけてトイレで排泄できるよう支援しています。夜間のパッド利用者8名の自立に向けた個別支援の工夫を続けています。今後は、トイレ誘導をいやがる利用者への対応がテーマとなっています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>乳製品の摂取や繊維質の多い食材を取り入れながら、日々の食事量、水分量、排便の有無をチェック表に記入し注意しています。また医療と連携をとり便秘にならぬよう努めています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的に月火木金と入浴日を設定していますが、他曜日でもご要望があれば入浴していただき、入居者様のペースやタイミングで入浴できるよう支援しています。</p>	<p>入浴を好まない利用者の理由は障害、体調、浴槽・密室の恐怖感など様々です。安心の支援で利用者の生活を支えています。人気の下呂温泉などの温泉入浴剤、菖蒲湯、柚子湯など特別風呂を楽しんでいます。要望があれば同性介助をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、散歩や外気浴等活発に過ごしていただき、安眠できるよう努めています。眠れないときは入居者様と一緒に過ごし安心していただけるようにしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明は職員各々に行うほか、周知のため個人記録に薬の効能また副作用、用法、用量がわかるように常にファイリングしています。また服薬ミスのないようチェックを二重にしています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様一人ひとりの好きな事や得意な事を把握し、清掃・食事作り・洗濯など職員と一緒にしたり、レクに取り入れ生活に張り合いを持っていただけるよう努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご希望時だけでなく、天気の良い日などはお声をかけ散歩や買い物へ行っています。また地域や家族の協力の元、お花見やお祭り等季節のイベントに出掛けています。	ご家族の希望もあり、月の半分位は外出しています。利用者の希望でコロケ、アイスクリームなどを買いにスーパーマーケット、コンビニ、100円ショップなどに出かけます。柏尾川のお花見やお祭には全員参加します。外気浴も人気があります。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には職員が管理していますが、いつでも使えるようにして、要望や必要に応じて買い物し、ご本人に支払いをしていただけるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望に応じて電話や手紙のやりとりが出来るようにしており、電話操作がお一人では難しいときなど職員が補助しています。手紙の要望があったときのために事務所に葉書や便箋等をご用意しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに共有スペースの装飾をかえ、季節感を取り入れています。ときには懐かしさを感じれる音楽を流しています。	廊下やリビングの壁面には外出記念写真、お誕生日会の記録、季節にふさわしいインテリア、壁飾りなど皆で協力して制作した作品が並んでいます。床、天井、壁、柱には、巾木がたくみに利用され、落ちついた和の雰囲気をかもし出しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに数人が座れるソファを設置し、一緒に談話やテレビ鑑賞など楽しめるようにしています。お独りで過ごしたいときなどのために玄関や廊下にイスを配置しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みのある家具や生活用品を持参していただき、落ち着いた空間づくりに活かしています。また居室に写真など飾り、各々の趣向に合わせた部屋づくりを行っています。	ご自分の部屋らしくご家族の写真、好きな植物、テーブル、電動モーターつきベッド、照明器具、障子、仏壇など、使い慣れた愛着のあるものを持ち込まれています。個々の利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアやトイレ、浴室等に手すりを設置し身体状況に合わせ生活できるようになっています。居室の入り口には名札をつけ、自室がわかりやすいよう工夫をしています。		

事業所名	スカイホーム湘南
ユニット名	あおい

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	家庭に近い介護を志し、地域の皆様と共にサービスを行う事を理念として、玄関や食堂に掲示し共有しています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域のお祭り、町内清掃等に参加しています。災害時に円滑に協力していただけるよう防災訓練の参加を呼びかけています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学校からの体験学習の受け入れを通じ、認知症に対する理解を深めていただいております。また町内会の方々には運営推進会議で事業所の生活を理解していただいております。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月ごとに行事やアクシデントまた職員の研修等を報告し、助言していただきながら、サービス向上に努力をしています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市が行う連絡会に参加し、市の担当者と連携を図る事により、入居者様についての情報交換を行い、市・区が主催する研修には積極的に参加しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は入居者様の理解を深め、その行動を把握する事により、危険行為に対応しております。日中、玄関は施錠していませんが、万一に備えてセンサーを設置しています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加した際は、毎日の朝礼にて研修報告を通して、職員へ周知させています。ケース会議を行う事で虐待を防止できるよう努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会で参加して得た知識を朝礼にて報告し、職員に法制度や高齢者サービスを学ぶ必要性を伝え、活用できるよう努めています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様やご家族に対して、運営規定の概要や職員の体制など重要事項を記入した文章を交付して、説明を行い同意を得ています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様には日常生活の中で傾聴することにより、サービスに反映させております。ご家族には来訪時やお手紙また家族会にて、ご意見・ご要望をいただき、運営に反映できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝行う合同ミーティングなどで職員間の意見を交換し、様々な問題の解決を図っています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の処遇改善の計画を立てて、職場の環境向上に努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者・職員に研修を斡旋し、参加した職員は研修内容を報告する事で情報を共有しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の研修などに参加して、得た技術や知識を活用しています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人やご家族の問合せ時や見学時には、必要としているサービスやご要望を理解できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居お問合せの時点で、なるべくご本人やご家族・関係者の方に見学していただけるようご案内させていただいています。体験入居も受け入れ、その際に要望や不安などを伺い納得していただけるよう努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時の面接でご本人・ご家族の要望や不安などを把握し、初期には1日の生活状態を観察記録し、その中で必要な援助を見極めてケアの統一化を図り、快適な生活を送れるように努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活の中で、入居者様の出来る事を把握し炊事、身の回りの掃除、花の水やりなど一緒に行い、その日の体調なども考慮しながら、ご本人の力を発揮しお互いを支えあえる関係を築けるよう努めています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会、行事、誕生日会、お祭りなどに参加して頂き、ご本人の要望や不安などを代弁したり、ご家族と密に連絡を取り、入居者様が安らぎと自信を感じることが出来るように協力しあい支援しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご親族、友人の方達の訪問時には、居間や居室で過ごしていただいております。居室にはご家族や友人の写真や好みの物を飾っています。ご本人の要望でご家族やご親族の方へ、いつでも電話ができる環境作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の人間関係を考慮し、座席を配慮しております。平穏かつ楽しく過ごしていただけるよう職員が雰囲気作りに努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方に会いに行ったり、ご家族からお礼の手紙を頂いております。また、転居先から情報提供を求められた際は、対応できるよう書類を保存しています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションの中で想いや希望等を伺っております。言葉で表せない方は表情や行動から察し、職員同士話し合い、共有しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の面談で、本人及び家族から今までの様子を細かに聞き記録しています。入居後も様々な場面でその方の今までの生活を知る事できるようにコミュニケーションをとっています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の行動や発言また生活状況等を個人記録に細かに記録しています。また、申し送りノートや業務日誌にも記録し、職員が周知把握できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族からのご意見や要望は、家族ノートに記入し、必要に応じてケース会議を行っております。医師や看護師に指示を仰ぎ、事例を職員間で共有して介護計画に反映しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録にセンター方式を使用して1日の生活状況等また言動を記録する事で、職員間で情報の共有を図り支援に活かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々の要望に沿えるようご家族とも相談して、同建物内の小規模多機能型事業所と連携をとり、機械浴等の設備を利用できるようになっています。また催事参加するなど積極的に交流しています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会に加入し、町内清掃やお祭りなど催事に参加しています。地域の方々にも事業所の行事や催事へ参加していただけるよう呼びかけをしたり、地域の方のボランティアを広く受け入れる事で相互交流を図っています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の同意を得て、24時間居宅療養診療医（月2回の往診）を委託し、必要に応じて訪問歯科や訪問マッサージまた針灸治療を受けられる体勢をとっています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は入居者様の変化に気づいたら、看護師やケアマネージャーに連絡・相談し適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族や医療関係者との連携を図り、定期的に状態を確認し、今後の支援の仕方を話し合うよう努めています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について、ご家族の意見を伺い話し合っています。ホームで可能な対応についてはご説明させていただき、理解を得られるよう努めています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、職員会議の際に必要な応じて個々の対応について検討しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、地域の方々・消防署員参加による防災訓練を行っており、地域と協力して災害対策に取り組んでいます。また災害時に備えて、建物の防火設備を定期的に点検しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様は人生の先輩ということをご心掛けています。自尊心や羞恥心に配慮した支援を行うよう努めています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	誕生日会や行事の際にはご本人様に希望をお聞きし献立に組み入れています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるものの、その時の状況に応じて利用者様のペースに合わせて対応しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者様の好みや習慣に応じ衣類を選んでおり、意思確認ができない入居者様は職員と一緒に選んでいます。2ヶ月に1度、訪問理容を実施しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材をなるべく取り入れ、食事時と同じテーブルを囲み会話をたのしみながら食事を頂いています。配膳や後片付け、盛り付け等は入居者様と一緒に行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるメニューで利用者様の摂取量を考え、季節の食材・嗜好を取り入れています。また誕生日会のメニューにも組み入れています。個人記録に摂取量・水分量を記入し状態を把握しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に口腔ケアをしています。また必要に応じて歯科受診も出来るようにしています。週2回の義歯の消毒や週1回のコップ・歯ブラシの殺菌を行い衛生管理にも注意しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>できるだけオムツの使用はしないように入居者様の排泄リズム把握に努め、お声がけや誘導により、トイレにて排泄できるよう支援しています。必要に応じて居室にポータブルトイレを設置し個人個人に合わせ対応しています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便状況をチェック表に記入して、変化に気づけるようにしています。便秘の方は乳製品を摂取していただき、腹部マッサージや温タオルをお腹に当て温めたりと自然排便できるよう支援しています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週4回を入浴日として設定していますが、ご希望によって毎日入浴できるよう配慮しています。体調や身体状態によってはシャワー浴や清拭を行い、ご無理にならないよう努めています。また季節によってゆず湯などを楽しんでいただけるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	定期的にリネン交換、掃除を行っています。利用者様の体調を観察して必要時は居室にて休んで頂いています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新たに薬が処方された際は各々の職員に申し送りをしています。また薬の説明書を個人記録にファイリングして、職員が周知把握できるようにしています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の楽しみごとをレクに取り入れて気分転換できるよう配慮しています。また潜在能力を把握し、テーブルを拭いていただいたり、洗濯物をたたんでいただいたり入居者様一人ひとりが役割をもって生活できるよう努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	事前に計画を立て、車で食事に出掛けたり、町内会の行事に参加しています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に職員が管理させていただいていますが、必要に応じて買い物できるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望により、電話をかけるお手伝いや電話のお取次ぎを行っております。手紙によるやり取りのお手伝いもしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の作品を入居者様と作製し展示したり、イベントや外出の際に撮った写真をリビングや廊下に飾り、季節感を演出しています。またテーブルや玄関に花を飾ったり、食事中に音楽を流して居心地よい空間作りに努めています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファに座ってくつろぎ、テレビを観たり、ベンチで雑談をしたりしてのんびり過ごされています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前から使っていた家具や仏壇また写真等を置き、ときおり花を飾って居心地よく過ごしていただけるよう工夫をしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の身体状態等に応じて、職員がその方にあった介助方法を話し合い実践しています。居室ドアには名札をつけて分かりやすくしています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		個別の記録にケアプラン実践の反映ができていないため、ケアプラン実施状況の把握が難しい。	ケアプランの実施状況を把握して、入居者様のニーズに対して実施したサービスにより充足できているか明確化し、サービスの質を向上させていく。	ケアプランの短期目標(場合により長期目標)に番号をつける。また個人記録にケアプラン記入欄を作成し、ケアプランの実施状況を記入していく。記入されたケアプラン実施状況をふまえ、モニタリングやアセスメントに活用する事でサービスの質を向上させていく。	12ヶ月
2		新しいスタッフも増え、終末期についての方針が十分共有できていない。	終末期についての方針を職員が共有する事で、終末期ケアを行うことのできる環境を整える。	定期的に終末期について話し合いまた研修を行い、当ホームの方針を理解・共有していく。	12ヶ月
3		人力的な問題や入居者様の状態変化により、基本的に入浴できる日を週4日としてしまっている。	業務を改善して時間にゆとりを作る事で、入居者様が入浴したい日に入浴できる環境を提供する。	定期的に業務に関する会議を行い、現状のサービスを改善する事で時間的余裕をつくり、毎日入浴できる環境をつくる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。